

報告タイトル

「農村女性、土地公有制及び人民公社」

Rural Women, Common Ownership of Land and People's Communes

氏名(所属)

李亜姣 (日本学術振興会外国人特別研究員)

Li Yajiao (JSPS International Research Fellow)

要旨(800字程度)

中国の農民たちは建国後、土地私有制を経験してから、自分の土地を合作社に出資し、最後には人民公社に差し出した。1956年、土地集団所有制の実施によって、土地という生産手段の平均的分配の歴史は閉じられた。しかし、人民公社は本当に平均主義の理想社会を実現できたのだろうか。

本報告は、中国婦女聯の機関誌『中国婦女』の土地制度とジェンダーに関する記事を取り上げ、人民公社の創設期(1958-1964年)・解体期(1978-1982年)における土地集団所有制と集団労働に基づく分配制度、特に農村女性の土地へのアクセスの状況、そこでの労働の状況や配分及び宅基地の配分をジェンダー視点から分析する。さらに、婦女聯の土地集団所有制・集団労働に基づく分配制度への見解、婦女聯の立ち位置の変化を明らかにする。土地集団所有制・集団労働に基づく分配制度のジェンダー不平等は人民公社の解体を加速した歴史に光を当てる。